

月刊

地まちのチカラ



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え方)で地域を育てる」地域まちづくりをすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを地まちのチカラで情報発信します。

2021.2.22
vol.63

官民連携まちづくりDAY2021

地まちNEWS



令和3年2月5日(金)、
国土交通省と全国エリ
アマネジメントネット
ワークの共催による
「官民連携まちづくり

DAY2021」が開催されました。

オンライン開催となった今回は、with/afterコロナ時代におけるまちづくりについて、錦二丁目エリアプラットフォームをはじめ、広島市のカミハチキテル、前橋市アーバンデザイン協議会の方

々によるトークセッションが行われました。

コロナ禍で活動が思うようにできないという話を聞く機会が多くなった今年度でしたが、前橋市アーバンデザイン協議会の方からの、100年先を見据えたアーバンデザインを考えているため、コロナ等に大きな影響を受けずに活動できているという話は特に印象に残りました。様々のことへの対応が求められる状況において、大きな目標や理念を定め、状況に応じた小さなアクションを行いサイクルを回す進め方の有効性を感じました。

地域の取組み

一般社団法人エリマネジメントラボ

全国のエリマネ団体の活動紹介！

名古屋市も参加しているエリマネ人材育成研究会のメンバーが人材育成プログラムの実施などを目的に、(一社)エリマネジメントラボを設立しました。エリマネラボと研究会が共同で、エリマネ団体の取組みをnoteで紹介しており、第1回は「二子玉川まちみちテラス」、第2回にはNPO法人久屋大通発展会さんの構想づくりを紹介しています！！今後も、全国の団体の活動を各ライターの視点で紹介していきますので是非ご覧ください。



noteのURL▶ <https://note.com/areamanagement>



地まち チャレンジ ~10人目~

小松 大さんからのご紹介

グローカル名古屋 代表

市野 将行さん

- ①人と人とのつながりをリアルに感じる瞬間が増えたこと。
 - ②コロナ禍やどんな環境にも適応できる新しい交流の仕方。
 - ③また世界中の人々と交流ができる日を楽しみにのんびりがんばりましょう！
- Question : ①まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと
②これから取組みたいと考えていること③最後にひとこと

地まち団体紹介

名駅東花車・船入地区まちづくりの会

地域の未来づくりのために！

リニア開業に伴い名駅周辺で大きな変化が予想される中、花車ビル三館(区分所有者有志)と名駅5丁目地区まちづくり協議会は話し合いを重ね、地域の資源や特性をいかしたまちづくりにエリア一体となって主体的に取り組むため、まちづくり組織を一本化することになりました。(令和2年4月1日設立) 今年度は、会員拡大活動と共に地域まちづくり活動助成を受け、情報発信のためのホームページ作成や構想策定に向けた勉強会に取り組んでいます。



日本福祉大学 吉村教授を招いて勉強会(12/18)▲

今月号の地まちチャレンジは、市野さん。名古屋駅西エリアにて、ゲストハウス兼カフェバーのグローカル名古屋を運営しながら、訪れる人たちが繋がる場づくりを目指しています。グローカル名古屋には、各国からの旅行者もいれば地元から訪れる人もいます。

市野さんは、この人とこの人が繋がるとこんなことが起こるんじやないかという「人のつながりの点線」を「実線」にしていくことを意識しているとのこと。まちの拠点には、市野さんのような人と人とを意図して繋いでいるパイプ役が必要だと感じました。(小川)

住宅都市局都市整備部 まちづくり企画課(市役所西庁舎4F) 地域まちづくり担当 清水・前川・小川

☎ | 052-972-2938 ☐ | a2938@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp ☐ | @chimachi_nagoya (名古屋市地域まちづくり担当)